

おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 6 号 (5 月 17 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y1第5節 鶴岡工業戦 痛恨の大敗↓

5月14日(土)Yリーグ1部第5節の鶴岡工業戦が鶴岡工業グラウンドにて行われました。一昨年は複数回あったY1の鶴岡ラウンドも昨年はなかったため、懐かしい気がする。県リーグの試合を鶴岡工業グラウンドで行うのは、山東にとって初。今節は、県総体前の最後の公式戦ということで、とても重要な試合。ここで波に乗って県総体に入りたいところ。特に山東は、リーグ途中に新チームへの移行が迫られるため、県総体までに勝ち点を積み重ねたい。二重の意味で必勝を期し、気合を入れて鶴岡に乗り込みました。

鶴工は例年、能力の高い選手に恵まれており、庄内の公立校の雄。3年生に、爆発的スピードとそれを生かすボールコントロール技術とを備えたスーパーな選手がおり、その選手への対応を誤ると大変なことになる(ことは試合前からわかっていました・・・)。ですが、守備のことばかり考えるのではなく、攻撃的に戦い攻め切って試合を支配したいとの思惑から、あまり守備の確認をせず、選手を送り出しました。それが後に大変なことになるうとは・・・。

試合が始まると、最近の試合にないくらい、入り(試合開始直後の調子)が悪い。最近はいずれも試合の入りがよく、あまり序盤の心配をしていなかったのですが、どうしたことか。鶴工のスーパーな選手は、前節の東海大山形戦ではMFをしており低い位置からゲームを組み立てておりましたが、今節はFWとして高い位置でプレーしている。高い位置でプレーされると、それだけゴールに近い位置で仕事をされてしまうため、こちらが攻め込んでいても、逆襲を心配して安心できない。内心、イヤだな～、と思いました。鶴工は山東DFを試すかのように早めにボールを前線に送り込んでくる。それらをしっかり跳ね返す力があれば山東の保持するボールになるのですが、シュートまで打たせる展開にしてしまうことが多い。相手選手のシュートミスや先発GKマサの冷静なシュートストップで何とか失点せずに済んでいる。山東の攻撃も徐々に調子が出てきて、シュートまで至る展開を見せるも、何か迫力が感じられない。パスワークの綺麗さはあっても、相手の弱いところをググッと決るような止められない攻撃になっていない。また山形中央戦で見せたような、次から次へとルーズボールにチャレンジし、2次攻撃、3次攻撃につなげる攻撃の継続性が感じられない。攻撃的に戦いきる、というゲームプランが崩れ、厳しい試合になりそうだと、と覚悟し始めた前半の中盤、先の鶴工の選手に山東の選手が二人抜かれ、豪快に左足シュートでネットを揺らされる。先制を許す。その後、ようやく攻撃的に戦うことができるようになり、押し込む時間が長くなる。そうした中、アウトサイドから

FW にボールが渡り、FW が抜け出すと、相手 DF と交錯して倒れる。ちょっと遠くて PK に相当する反則かわからなかったのですが、PK ゲット。難なく決め 1 - 1 の同点にして、ハーフタイムへ。

後半は何とかスーパーな選手を抑えて山東ペースで試合を進めたいと思っていた矢先、その選手のドリブル突破に対して山東左サイドバックがボールを蹴って突破を阻止。ナイスディフェンスと思いましたが、そのプレーはボールとともに相手にも接触しており、主審の判断は山東ファールで鶴工の PK。おあいこにするため主審が鶴工に PK を与えたとは思いませんが、経験上、鶴工の選手の倒れ方から考えてもノーファールに見えました。しかし主審の完全ならざる判断も含めて、それがサッカーです。そもそも、その選手に十分な形でドリブル突破を試みさせ、ペナルティエリアに侵入されているから、そのようなまぎれの発生するシーンが生まれたのです。1 - 2 のビハインドへ。いよいよ厳しくなってきましたが、こういうところであきらめずに、しぶとく同点、逆転にするのが山東の持ち味のはず。ベンチで弱気になる自分を奮い立たせ、戦況を見つめると・・・またしても、そのスーパーな選手に豪快なシュートを打たせてしまい、1 - 3 へ。自由にドリブルをされたら止められないことが分かっているのだから、ドリブルを仕掛ける前に(後ろを向いているうちに)プレッシャーをしっかりとかけ、まずは仕事をさせないことが求められているはずなのに、山東ディフェンス陣には自由に動き回るその選手を捕まえようとする工夫が足りない。山東攻撃陣も、劣勢に焦るばかりで決定的チャンスは作れずじまい。後半は押し気味な時間が多いものの、山東の遅い攻撃に対して人数をかけてしっかり守り、素早い切り替えから逆襲を仕掛ける鶴工の攻撃の方が鋭く感じられる。その FW 以外の選手にも、勢いづいてどんどん積極的なプレーが飛び出す。結局、山東の守備は崩壊、一人の FW に 4 得点を許し 1 - 5 での敗戦。

県総体に向けて弾みをつけるどころか、県総体に向けて大反省を迫られることになりました。守備については、そのスーパーな選手を止めるためにベンチの適切な判断が必要でした・・・監督が大反省を迫られる試合とはまさにこのこと。とはいえ、県総体前にしっかりと課題が明らかになり、失うものは何もない開き直った心境で県総体に臨むことができます。万事塞翁が馬！ 都合の良いように考えることにします。あとは、5月29日(日)、鶴岡中央高校で行われる県総体初戦(2回戦)、米工 楯岡の勝者との対決に全力投球するのみです。3年生の集大成の舞台、応援よろしく願いいたします。

最後に、顧問今野の長男誕生に際しまして、保護者会の皆さまからお祝いを頂戴しました。ありがとうございました。お陰様で、5月15日(日)に退院いたしました！！